前橋工業高等学校　学校評価一覧表 ①（元年度版）

（様式1）

表の見方　　具体的数値項目　A:充分達成できた　B:達成できた　C:もう少しで達成できた　D:達成できなかった

羅針盤			方策	第1回点検・評価				第2回点検・評価			
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート 生徒	外部アンケート 保護者	改善策	自己評価	外部アンケート 生徒	外部アンケート 保護者	改善策
Ⅰ　特色ある学校づくりに努めていますか。	1　特色ある教育活動を行っていますか。	(1) 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	・創意工夫に満ちた教育活動を展開する。 ・各教科で体験的学習を取り入れる。 ・選択授業・少人数授業を実施する。 ・授業参観・授業研究会を実施する。								
		(2) 生徒が在学中に1回以上インターンシップに参加している。	・インターンシップ（短期・長期）を実施する。								
		(3) 工業の特長を活かしたものづくりに積極的に取り組み、実習内容に満足している生徒が70%以上である。	・専門性を深めるため積極的な課外活動に取り組む。（各科研究部等） ・ものづくりが楽しくなる工夫を行い、生徒が積極的に参加できるようにする。								
		(4) 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。	・行事を充実させ、職員と生徒で運営できるようにする。 ・ＯＢや社会人による講演を行う。 ・前工生であるという帰属意識とプライドを醸成する。								
	2　資格取得に積極的に取り組んでいますか。	(5) 資格取得指導に満足している生徒が80%以上である。	・資格・講習会の紹介により受験を促す。 ・補習指導を各係で実施する。 ・家庭学習や放課後の時間を有効活用する指導を行う。								
Ⅱ　生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3　生徒は確かな学力を身につけていますか。	(6) 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	・生徒の実態に合った授業や、教材づくりなど各科でわかりやすい授業に取り組む。 ・授業における言語活動の充実を図る。 ・試験前、試験中に勉強会を行う。（学年） ・学習遅れの生徒へ補習する。（各教科） ・授業アンケートを基に授業改善に心掛ける。 ・ＩＣＴ機器を活用した効果的な指導を行う。								
		(7) 欠点保持者数は各学期で全校で10%以下である。	・成績不振者に対し補習授業を行う。 ・履修科目を修得させる努力をさせる。 ・基礎、基本の知識が定着する授業を展開する。								
Ⅲ　生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4　組織的・継続的な指導を行っていますか。	(8) 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度行っている。	・情報交換会を実施する。 ・各科と担任の情報交換を密にする。 ・定例学年会で情報交換する。 ・職員会議、成績会議で情報交換する。 ・各会議での情報を共有できるようにする。								
	5　生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(9) 家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による欠席・遅刻をなくし、1日平均遅刻者数は前年度の98%以下である。	・進路指導も見据えた指導を行う。 ・遅刻カード（イエローカード）の記入を徹底する。 ・欠席遅刻が多くなりそうな生徒には、家庭へ連絡して早期改善に努める。 ・基本的生活習慣を確立させる。								
		(10) 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査の必要のある生徒の受診率は80%以上である。	・検診結果により治療が必要な生徒に治療勧告を行う。 ・担任、養護教諭等で指導機会を増やす。 ・保健だよりを発行し、保健意識の啓発を図る。								
	6　学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	(11) 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に各学期1回以上は行っている。	・学校生活アンケートや面談週間などで、悩みを学校職員に伝える機会を設け、未然防止や早期発見に結びつける。 ・生徒、保護者が中心となって、あいさつ運動を展開する。								
		(12)学校は、「学校いじめ防止基本方針」について、1回以上生徒に説明している。	・年度当初に、全校集会で「学校いじめ防止基本方針」を説明し、いじめは絶対にあってはならないことを伝えていく。								
		(13)学校は、生徒がSNS(ツイッターやラインなど)やインターネットの危険性や正しい利用方法などについて、1回以上は学ぶ機会をつくっている。	・「ケータイ安全教室」を実施し、SNSによるトラブルやSNSに頼らない人間関係の構築に向け指導を行う。								
	7　部活動に積極的に取り組んでいますか。	(14) 部活動に入部している生徒は60%以上である。	・新入生歓迎会（部活動ガイダンス）により、新入生への部活動加入を促す。 ・部活動の諸調整を行い活動の活性化を図る。								
Ⅳ　生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8　計画的な指導を行っていますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	・先輩と語る会や３年生と語る会を実施する。 ・進路希望調査を実施する。（年２回） ・進路講話や進路ガイダンスを計画的に実施する。 ・進路補講（２年３学期～）を実施する。 ・各科との協力のもと、企業見学やインターンシップを実施する。								
		(16) 学校からの進路に関する情報について満足している保護者が80%以上である。	・進路のしおりを作成し配布する。 ・保護者対象の進路説明会を実施する。 ・ホームページを活用し、進路行事や進路状況を載せる。 ・２者及び３者面談を実施し、進路希望の確認を行う。 ・配布物を保護者に見せるよう、学級担任と協力して生徒を指導する。								
	9　生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	・進路だよりを定期的に発行する。 ・進路のしおりを作成し、全生徒に配布する。 ・進路相談室の充実を図る。 ・図書館に進路コーナーを設置し、生徒への情報提供を行う。								
Ⅴ　開かれた学校づくりに努めていますか。	10　家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	・オープンスクールを行う。 ・学校公開を実施する。 ・県民向け高校開放講座を実施する。								
		(19) 保護者全員を対象とした学級担任による面談を年1回以上実施している。	・全校一斉の３者面談週間を設ける。								
		(20) PTA総会、学年保護者会等に積極的に参加している保護者が50%以上である。	・学級懇談会や学年保護者会を実施する。 ・保護者への連絡を周知徹底するため、案内文書に加えメールでの案内も送る。 ・家庭との連絡を密にする。（担任） ・課題研究発表会や予餞会等では、保護者に案内を送る。								
		(21) 学校の活動内容や生徒の状況を年12回以上伝え広報活動も行っている。	・ホームページの内容を随時更新する。 ・中学３年生向けの学校説明会時やオープンスクール時に配布して広報する。 ・中学校訪問時に配布して広報する。 ・中学校への出前授業を実施する。								